

令和 6 年度事業報告書

〔 令和 6 年 4 月 1 日から
令和 7 年 3 月 3 1 日まで 〕

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日までの当財団の令和 6 年度事業概況について、以下のとおりご報告申し上げます。

事業概況

当財団は、地下鉄博物館の運営を通じて地下鉄に関する知識の普及を図るほか、交通文化事業及び交通マナー事業を推進し、交通文化の発展に寄与するよう努めております。

令和 6 年度は、以下のとおり各事業を実施いたしました。

I 事業

1 博物館事業

地下鉄に関する資料等の収集、展示、解説及び案内等を通じて、多くの方々に地下鉄に関する知識を得ていただき、理解を深めていただくことを目的に、地下鉄博物館の管理・運営を行いました。

特別展や各種イベントを開催しながら一年間運営した結果、入館者数については前年度より 1 8 千人多い 1 6 9 千人（1 2. 0 % 増）となりました。

（1）特別展の開催

ア「丸ノ内線開通 7 0 周年展 ～車両編～」(令和 6 年 6 月 4 日から 9 月 1 日まで)

令和 5 年度後半の特別展を「丸ノ内線開通 7 0 周年展 ～建設編～」というテーマで開催しましたが、今回はその続編として“車両編”を開催しました。

丸ノ内線は戦後初の地下鉄開通路線です。当時の最新型車両として登場した 3 0 0 形は、日本で初めて両開きドアや行き先方向幕が設置された画期的な車両でした。

1 9 8 8 年からは後継として 0 2 系車両が登場し、車内駅名表示器の設置、ドア開閉扉時チャイムの鳴動開始、高周波分巻式チョッパが採用されるなど、近代化の先駆けとなった車両でした。

2 0 1 9 年からは安全・安定性の向上、車内快適性の向上、環境負荷低減など、様々

な先進的な取り組みが施された最新式の2000系車両が登場しました。

本特別展では、丸ノ内線70年の歴史の中から「車両」にスポットをあて、その変遷や特徴などについて実物資料や写真パネルを公開しました。

また開催期間中に関連イベントとして、東京メトロの増澤富士雄氏による講演会を開催し、丸ノ内線車両にまつわる様々な話をしてもらいました。

イ「東京メトロ 20年のあゆみ展」（令和6年12月3日から令和7年3月9日まで）

帝都高速度交通営団は2004年3月、約63年間の歴史に幕を閉じ、同年4月1日に特殊会社「東京地下鉄株式会社」（以下“東京メトロ”）として民営化されました。

会社発足から20年間を経た現在、同社は東京都区部を中心に9路線195.0km、180駅を運営し、1日あたり約652万人のお客様が利用しています。

本特別展では、東京メトロの会社設立後から20年間のあゆみを4つの年代に分け、時代ごとのトピックに焦点をあて、実物資料や写真パネルを公開しました。

また開催期間中に関連イベントとして、鉄道に詳しいタレントによるトークライブを開催し、東京メトロ・地下鉄に関する様々な話をしてもらいました。

（2）イベントの実施

節目の期間を捉え、硬券きっぷの入館実演会、重要文化財車両の特別公開、02系パネルでの記念写真撮影会、特別映画上映等、さまざまなイベントを実施しました。

特に年間を通してホール内において小物（「オリジナルかざぐるま」、「ペーパークラフト」「オリジナル風鈴」「ぬりペタ moku TRAIN」等）を工作していただく体験イベントについては、ファミリー層を中心とした多くのお客様が参加され、楽しんでいかれました。

（3）教育実習活動の実施

9月5日より一週間、5名の大学生を対象に学芸員資格取得のための博物館実習を実施しました。

期間中、実習生による「大学生と学ぼう！地下鉄歴史ツアー」と題したツアーを実施し、お客様に向けて館内（歴史コーナー）の案内をしてもらいました。

また、図書資料を読み解き、地下鉄の歴史関係のデータを作成してもらいました。

（４）地下鉄関連資料の収集、保管及び貸し出し

地下鉄に関する各種資料、写真等を東京メトロ・営団地下鉄退職者の会（地下鉄ＯＢ会）会報に記事掲載をするなどにより、継続的に収集、整理、保存するとともに、データベース化した貴重な資料を「メトロアーカイブアルバム」で公開し、それによりテレビ局、新聞社、雑誌社等メディアからの問い合わせを受け、資料を貸し出しました。

（５）展示物及び施設の更新、改良等

当初より予定していたものに加え、期中に必要なが生じたものを併せ、以下の更新・改良工事等を行いました。

- ・自動券売機・両替機更新
- ・運転シミュレーターＯＳ更新
- ・車掌シミュレーター導入（開発費）
- ・空冷チラーオーバーホール工事
- ・ＩＴＶ設備（防犯カメラ）更新
- ・その他（館内照明ＬＥＤ化工事、屋上漏水補修工事、シミュレーターパネル交換工事、０１系カットモデル移設工事、空調機加湿給水配管修繕工事）

（６）その他の取り組み

同業他館と連携を図っていくことを目的に、これまでの「東武博物館」、「電車とバスの博物館（東急）」、「ロマンスカーミュージアム（小田急）」及び「京王れーるランド」の４館に加え、あらたに「京急ミュージアム」を加えた同業５館との連絡会を地下鉄博物館において１回開催し、各館の近況や合同の取り組み等について、報告・意見交換しました。

本年度も多くのお客様にご来館いただけるよう、ホームページ、ＳＮＳ、駅構内や車両内に掲出・設置したポスターや看板、携帯サイト等の各種媒体を通じて、博物館のＰＲや特別展・イベント開催の告知等を行いました。

2 交通文化事業

さまざまなイベントや展示等を通じて、多くの方々に文化的で豊かな日々を提供することを目的に、以下の事業を実施しました。

(1) メトロコンサートの開催

音楽文化の普及を図るため毎年度開催している同コンサートについては、リアル（対面）とオンライン（非対面）の相乗効果が得られるよう、駅構内での公演、小ホールでの公演、小ホール公演のプログラム＋別途2曲を収録した動画のオンライン上での配信の3つを連動させ、次のとおり開催しました。

【駅構内での公演】

	開催日	コンサートタイトル及び出演者	来場者数
渋谷 駅 構 内	R6.10.19	第30回 ステーションコンサート in 渋谷 「サクソフォン五重奏」 出演者：『Five by Five』	186人
	R6.10.20	第31回 ステーションコンサート in 渋谷 「木管五重奏」 出演者：『ロン・ポワン』	242人
	H6.12.13	第32回 ステーションコンサート in 渋谷 「声楽・演奏混合」 出演者：『Sanare Quintet』	548人

【小ホールでの公演】（450人のお客様をご招待）

開 催 日：令和6年11月16日

場 所：セシオン杉並 ホール

タイトル：～12人のヴァイオリニストが贈る華麗なる饗宴～

演奏内容：ヴァイオリンユニット

出 演：『12人のヴァイオリニスト』

来 場 者：373人（応募者 18, 214人）

【オンライン配信】

配 信 日：令和6年12月25日から

タイトル：～12人のヴァイオリニストが贈る華麗なる饗宴～

演奏内容：ヴァイオリンユニット

出 演：『12人のヴァイオリニスト』
視聴回数：5.2万回（3月31日まで）

（2）メトロポリス・クラシックスコンサートの開催

気軽にクラシック音楽に触れていただくため、プロのオーケストラによる本格的なコンサートに2,000人のお客様をご招待し、次のとおり開催しました。

・第19回メトロポリス・クラシックスコンサート

募集期間：令和6年6月3日から7月22日まで

開催日：令和6年9月8日

場 所：東京芸術劇場

テ ー マ：「郷愁～ドヴォルザークとボヘミアの響き～」

出 演：東京都交響楽団ほか

来 場 者：1,737人（応募者 57,784人）

（3）音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）の開催

福祉活動及び音楽文化の振興に寄与するため、都内及び近郊の福祉施設、病院、学校等に出向いて行う「音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）」を、次のとおり10か所で開催しました。

またこれらの開催と併行して、無観客状況下での演奏を収録したDVDを13か所の施設に配付し、本コンサートのPRを行いました。

回数	開催日	施設名及び出演者	来場者
133	R6.4.26 新規施設	社会福祉法人 あそか会 東陽高齢者在宅サービスセンター（江東区） 出演者：アンサンブル・エルパ	48人
134	R6.5.18 新規施設	社会福祉法人 東京援護協会 特別養護老人ホーム 蔵前（台東区） 出演者：アンサンブル・エルパ	29人
135	R6.5.22	社会福祉法人 あそか会 特別養護老人ホーム 塩浜ホーム（江東区） 出演者：ラ・スペランツァ	59人
136	R6.6.2 新規施設	社会福祉法人 奉優会 特別養護老人ホーム 目黒中央の家（目黒区） 出演者：アンサンブル・エルパ	61人

137	R6.7.19	社会福祉法人 東京援護協会 ケアハウス松が谷（台東区） 出演者：ラ・スペランツァ	55 人
138	R6.9.20 新規施設	社会福祉法人 晴山会 特別養護老人ホーム 飛鳥晴山苑（北区） 出演者：アンサンブル・エルパ	54 人
139	R6.9.24 新規施設	社会福祉法人 聖風会 特別養護老人ホーム 足立新生苑（足立区） 出演者：ラ・スペランツァ	71 人
140	R6.10.8	新宿区立新宿養護学校（新宿区） 出演者：東京都交響楽団	63 人
141	R7.1.29	東京都立中野特別支援学校（中野区） 出演者：東京都交響楽団	267 人
142	R7.2.25 新規施設	公益財団法人ライフ・エクステンション研究所付属 永寿総合病院（台東区） 出演者：東京都交響楽団	54 人

（４）メトロ文化展の開催

絵画、写真及び文学に係る作品を募集し、その中から優秀作品等を選び展示する「メトロ文化展」を、次のとおり開催しました。

ア 児童絵画の部

地下鉄に関する知識や興味を持っていただけるように、小学生を対象に安全やマナー等に関する絵画作品を募集した結果、４，２３３点の応募がありました。

応募作品の中から優秀作品（特選・入選・佳作）３００点及び奨励賞作品３１２点を選び、次のとおり発表しました。

・第４２回メトロ児童絵画展（募集期間：令和６年７月３日から９月６日まで）

一次展示：優秀作品３００点を三越前駅コンコースに展示

（令和６年１０月１１日から１６日まで）

二次展示：奨励賞作品等３５６点を三越前駅コンコースに展示

（令和６年１０月１８日から２１日まで）

審査員：小野孝一氏（現代童画会常任委員）

川内 悟氏（公益社団法人二科会名誉理事）

イ 写真の部

撮影テクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域などを撮影する喜びを体験していただくため、専門家による「メトロ写真教室」を、次のとおり2回開催しました。

また後日、当日撮影された写真を当財団ホームページにおいて発表しました。

・第54回メトロ写真教室（講義及び撮影）

開 催 日：令和6年5月26日

場 所：皇居東御苑周辺

参 加 者：16人（応募者102人（定員20人））

講 師：中谷吉隆氏（公益社団法人日本写真家協会名誉会員）

作品発表：13点の作品を当財団ホームページに掲載

（令和6年7月18日から31日まで）

・第55回メトロ写真教室（講義及び撮影）

開 催 日：令和6年10月27日

場 所：虎ノ門ヒルズ周辺

参 加 者：18人（応募者53人（定員25人））

講 師：中谷吉隆氏（公益社団法人日本写真家協会名誉会員）

作品発表：15点の作品を当財団ホームページに掲載

（令和6年12月26日から令和7年1月8日まで）

ウ 文学の部

電車内で文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、“東京で感じるあなたの心”をテーマにした“詩”の募集を春と秋の2回行い、応募作品の中から優秀作品6編を選び、次のとおり電車内で発表しました。

また同6作品に加え、別途選んだ入選作品20編を、当財団ホームページにおいて発表しました。

・第39回メトロ文学館（募集期間：令和6年4月1日から5月31日まで）

応 募 数：287編（162人）

審 査 員：白石公子氏（詩人、エッセイスト）

作品発表：優秀作品 6 編を電車内の中吊りポスターに掲出

（令和 6 年 8 月 6 日から 9 月 3 0 日まで）

優秀作品 6 編及び入選作品 2 0 編を当財団ホームページに掲載

（令和 6 年 8 月 1 5 日から 9 月 1 5 日まで）

・第 4 0 回メトロ文学館（募集期間：令和 6 年 1 0 月 1 日から 1 1 月 3 0 日まで）

応 募 数：3 9 2 編（2 0 5 人）

審 査 員：同 上

作品発表：優秀作品 6 編を電車内の中吊りポスターに掲出

（令和 7 年 1 月 2 7 日から 3 月 2 1 日まで）

優秀作品 6 編及び入選作品 2 0 編を当財団ホームページに掲載

（令和 7 年 2 月 1 4 日から 3 月 1 4 日まで）

（5）沿線地域文化の紹介

地下鉄沿線の地域文化の振興や伝承支援に寄与するため、沿線地域の文化、歴史、芸術、自然、行事等を、当財団のホームページ及び「Echika 池袋ギャラリー」において、次のとおり紹介しました。

ア 杉並区

「いきいき TOKYO 夢 SUGINAMI-KU」「いきいき TOKYO 夢職人」として紹介

・「Echika 池袋ギャラリー」での展示（令和 6 年 6 月 1 日から 2 7 日まで）

・財団ホームページへの掲載（令和 6 年 6 月 1 日から）

イ 世田谷区

「いきいき TOKYO 夢 SETAGAYA-KU」「いきいき TOKYO 夢職人」として紹介

・「Echika 池袋ギャラリー」での展示（令和 7 年 2 月 1 日から 2 7 日まで）

・財団ホームページへの掲載（令和 7 年 2 月 1 日から）

また、江戸の文化を今に伝える伝統工芸職人技の実演会を、次のとおり駅構内にて開催しました。

開 催 日：令和7年3月29日
場 所：東京メトロ日比谷線銀座駅構内
職 人：江戸すだれ 田中耕太郎氏（台東区）

（6）メトロ歴史教室の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、専門家による「メトロ歴史教室」を、次のとおり2回開催しました。

ア 第46回メトロ歴史教室（講義及び探訪）

開 催 日：令和6年11月9日
場 所：築地・佃島界限
参 加 者：20人（応募者55人（定員25人））
講 師：山田 徹氏（大学講師：地理学・地誌学専門）

イ 第47回メトロ歴史教室（講義及び探訪）

開 催 日：令和6年11月16日
場 所：同 上
参 加 者：15人（応募者43人（定員25人））
講 師：同 上

（7）Echika 池袋ギャラリーの管理運営

駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、さらには文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に寄与するために設置された「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行いました。

展示については地元の豊島区と分担して行い、当財団については、次のとおり展示しました。

展 示 期 間	展 示 内 容
R6.6.1～27	杉並区の紹介 （伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等）
R6.8.1～29	江戸東京博物館企画 【テーマ：華やかな外交の舞台 鹿鳴館】 ○展示趣旨 イギリス人建築家ジョサイア・コンドルの代表作のひとつで、 今はない鹿鳴館を紹介

	○展示作品 写真、建築部材、錦絵
R6.12.27 ～R7.1.30	江戸東京博物館企画 【テーマ：明治建築界の帝王 辰野金吾】 ○展示趣旨 イギリス人建築家ジョサイア・コンドルの薫陶を受け、日本人最初の建築家と言われた4名のうちの1名で明治建築界の帝王として君臨した辰野金吾の建築について紹介 ○展示作品 書籍、錦絵、絵葉書
R7.2.1～27	世田谷区の紹介 (伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等)

(8) パブリックアートの設置・管理

芸術文化の振興に寄与し、人々の心に潤いを与えるため、駅構内に設置した「パブリックアート」(8駅9作品)の維持管理を行いました。

また、日比谷線銀座駅コンコースに設置してある「メトロ銀座ギャラリー」において、若手芸術家の作品を中心に、次のとおり展示しました。

展 示 期 間	展 示 者	展 示 内 容
R6.3.5～4.19	文化学園大学	展示会名：「BUNKA × METRO」 ○展示内容 14名の作品を3か所のエリアに2～5名ずつ 2期に分けて展示
R6.4.22～7.13	東京藝術大学	展示会名：「藝大 Art Journey」 ○展示内容 令和5年度「東京藝術大学 卒業・修了作品展」の中から選ばれた10名の優秀作品を 3か所のエリアに3期に分けて展示
R6.7.16～10.20	武蔵野美術大学	展示会名：「移動する視点、通路の彫刻」 ○展示内容 3名の作品を3か所のエリアに展示
R6.11.4～ R7.3.1	(社)日本美術家 連盟関係作家	展示会名：「ART PASSAGE TOKYO METRO」 ○展示内容 7名の作品を3か所のエリアに2期に分けて 展示
R7.3.5～4.11	文化学園大学	展示会名：「BUNKA × METRO」 ○展示内容 6名の作品を3か所のエリアに分けて展示

3 交通マナー事業

交通マナーの高揚を図り、併せて地下鉄に対する親しみを深めていただくことを目的に、以下の事業を実施しました。

(1) マナーポスターの制作・掲出

交通マナーの高揚を図るため、交通道德宣伝用マナーポスターを制作し、毎月東京メトロの全駅及び全電車内に掲出しました。

本年度は、「みんなで みんなに いいマナー！」をスローガンとし、お客様にやさしい気遣いやお互いを思いやる気持ちを持っていただけるような表現とシンプルなコピーで、伝えたいことが瞬時に分かるポスターとしました。

(2) 「地下鉄のはなし」の制作・配布

小学生を対象として、交通マナー、地下鉄の歴史、役割、安全への取り組み等を解説した小冊子「地下鉄のはなし」の在庫調査を5月に実施し、新たに5万部を増刷して7月に地下鉄博物館及び東京メトロの主要駅において配布しました。

(3) 鉄道教室の開催

交通マナーや地下鉄に関する知識を深めていただくため、当財団のホームページで小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、駅施設の見学及び駅業務関係備品の操作体験、マナーセミナー等を行う「鉄道教室」を、次のとおり開催しました。

・第24回 鉄道教室（令和7年2月1日開催）

場 所：東西線南砂町駅・東陽町駅

応募者310組 参加者 16人（定員10組20人）

内 容：駅構内見学	券売機室、自動改札機、寝室、ホーム、ホームドア等
各種説明	駅の概要、駅の業務、駅係員との交流（事前質問への回答）、今昔説明等
セミナー	鉄道マナーセミナー
操作体験	マジックハンド・合図灯操作、切符への入鋏等

Ⅱ 庶 務

1 理事会

(1) 令和6年度第1回（令和6年6月6日開催）

ア 「令和5年度事業報告及び計算書類の承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「定時評議員会の招集に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」報告がありました。

(2) 令和6年度第2回（令和6年6月24日開催）

ア 「代表理事会長の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「業務執行理事の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「理事長、専務理事及び常務理事の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

エ 「業務執行理事の業務分担に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

オ 「役員報酬に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「定時評議員会の決議内容について」報告がありました。

(3) 令和6年度第3回（令和7年3月7日開催）

ア 「令和7年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」報告がありました。

2 評議員会

(1) 令和6年度定時評議員会（令和6年6月24日開催）

ア 「令和5年度事業報告及び計算書類の承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「評議員の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「理事の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

エ 「監事の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「理事会の決議内容について」報告がありました。

3 官庁事項

内閣府への届出等事項は、次のとおりであります。

- (1) 令和6年6月28日 ・ 令和5年度事業報告等提出
- (2) 令和6年7月2日 ・ 理事等変更届出提出
- (3) 令和6年8月28日 ・ 理事等変更届出補正
- (4) 令和6年11月8日 ・ 理事等変更届出補正
- (5) 令和6年12月25日 ・ 令和5年度事業報告補正
- (6) 令和7年3月18日 ・ 令和7年度事業計画等提出

4 登 記

今期における登記事項は、次のとおりであります。

- (1) 令和6年6月24日

ア 重任登記

奥義光代表理事、甲斐義朗理事、野俣光孝理事、大谷泰彦理事、小野孝一理事、白石公子理事、鈴木嵯峨子理事、中谷吉隆理事、吉田茂監事、大井康弘評議員、實方健評議員、辻恵子評議員、野口実評議員、花上嘉成評議員、平野直樹評議員、山田徹評議員

イ 就任登記

巻島豊理事、坂田香奈監事、白石弥生子評議員、鈴木勇一郎評議員、宗利英二評議員、濱松繁雄評議員

ウ 退任登記

内田喜恵理事、鈴木信行監事、鈴木章生評議員、増田英子評議員、若林功評議員

5 役 員

今期末における役員は、次のとおりであります。

会 長（代表理事）	奥 義 光
理 事 長	甲 斐 義 朗
専務理事	野 俣 光 孝
常務理事	小 林 秀 徳
常務理事	大 谷 泰 彦
理 事	小 野 孝 一

理 事	白 石 公 子
理 事	鈴 木 嵯峨子
理 事	中 谷 吉 隆
理 事	巻 島 豊
監 事	吉 田 茂
監 事	坂 田 香 奈

(理事 10人、監事 2人)

6 評議員

今期末における評議員は、次のとおりであります。

大井康弘、實方 健、白石弥生子、鈴木勇一郎、宗利英二、辻 恵子、野口 実、
花上嘉成、濱松繁雄、平野直樹、山田 徹

(11人)

7 従業員

今期末における従業員数は、26人であります。

令和7年6月

公益財団法人 メトロ文化財団

令和6年度

附属明細書（事業報告関係）

（令和6年4月1日～令和7年3月31日まで）

1 事業報告の内容を補足する重要な事項

記載事項はありません。

以上